事業完了報告書

提出日：2023 年　　4　月　　11 日

1．事業概要

（1）実行団体名：特定非営利活動法人 glolab

（2）事業名　：　外国ルーツ青少年(高校生)向け進路・キャリアの支援・相談およびロールモデルコミュニティ創出事業

（3）事業実施期間：2020 年 5 月～2023 年 3 月

（4）資金分配団体名：公益財団法人日本国際交流センター

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（2）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（3）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（2） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ □ 外部に窓口を設置 ／ □ JANPIA の窓口を利用
（3） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（4） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（5） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（6） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ □ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。
（7） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
□ 外部監査 ／☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 当団体監事による監査を毎年 5 月に実施
（8） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
□ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☐ イベント実施時に表示している ☐ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	朝日新聞　当団体の都立六郷工科高等学校での取り組み取材 TBS ラジオ　川口市進路ガイダンス　当団体が共催のガイダンス　ワークショップ紹介
広報制作物等	有	みらいチャレンジプログラム、NEWDOOR 進学プレッププログラムのチラシ
報告書等		

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

個人ベースのボランティア活動から NPO 団体に成長し、組織基盤が確立された。高等学校との連携も生まれ、3 年間で活動が認知され、高等学校で当団体の進路プログラムが導入されたり、進路について相談が教職員かよされたりするようになった。活動を通じて保護者の支援を行ってこなかったが、進路選択には保護者の考え方や状況が深く関わっていることがわかり、今後は保護者の支援も視野にいれていきたい。また、高校からは特に就職等の受け皿がないという声が多く聞かれる。企業等への外国ルーツの青少年への理解についても促進していきたい。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

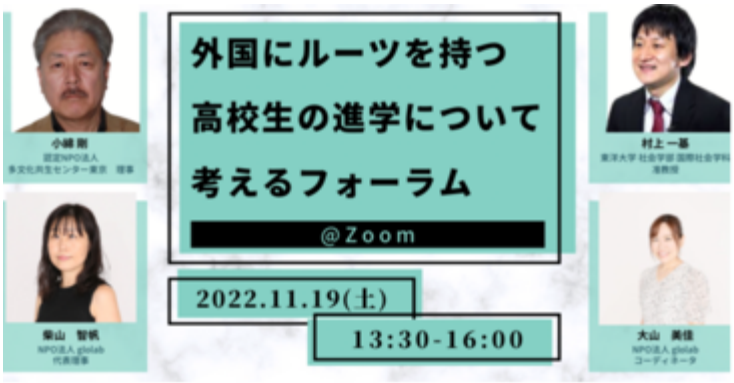
それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

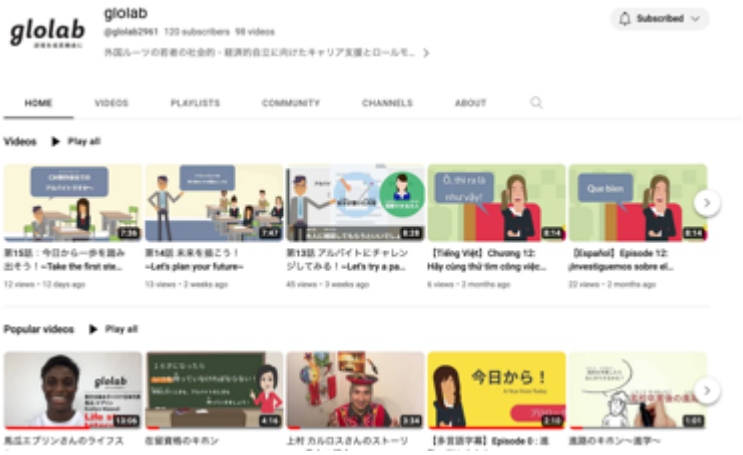
みらいチャレンジプログラム：北海道十勝郡浦幌町でのキャリア合宿の様子。浦幌町の起業家との対話、チームビルディングのための農業体験など、普段できない体験を通して将来を考えるプログラム

滋賀県立信楽高等学校での進路の授業の様子。高校１年生ー３年生まで 21 人が参加。将来を考えるために自分を深掘りするワークや、外国ルーツの当団体のスタッフの話などを組み合わせたワークショップを実施

東京都立六郷工科高等学校定時制での進路ワークショップの様子。１年生から３年生まで、６月から 12 月まで半年間の伴走支援を実施した。



外国にルーツを持つ高校生の進学について考えるフォーラム
東洋大学の村上一基教授、NPO 法人多文化共生センター東京理事の小綿剛先生を招いてフォーラムを実施。60 名弱の参加があった。



glolab Youtube チャンネル
進路情報や、進路選択のためのマインドセットを学ぶ動画、在留資格の情報、外国ルーツの方のインタビューなどを配信。
オリンピック　バスケットボール銀メダリスト馬瓜エブリンさんのインタビュー動画も配信している